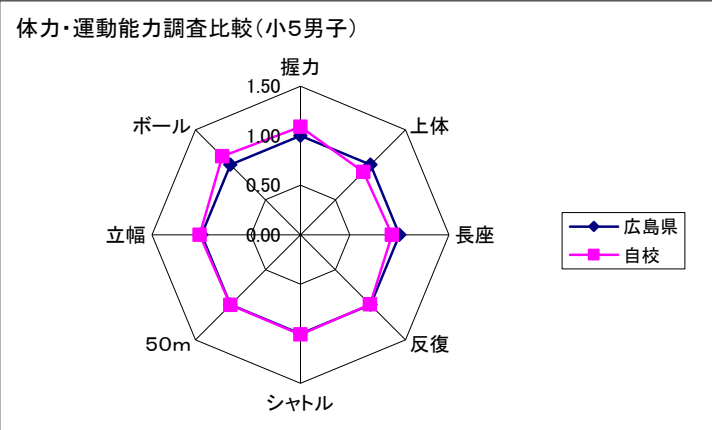
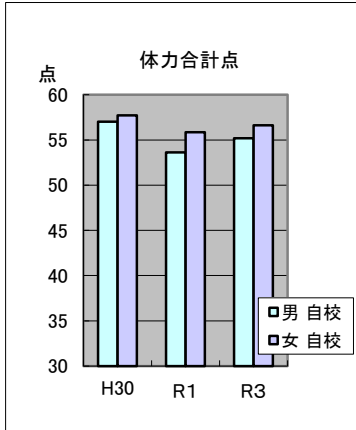
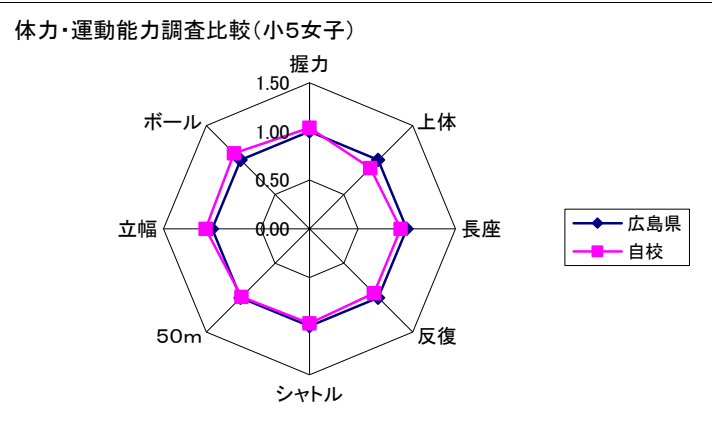


男子の体力合計点 学校 55.2 点 県平均 55.16 点



女子の体力合計点 学校 56.6 点 県平均 57.06 点



R3体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析 (全学年の状況も踏まえて記入すること)

① (呉市の課題種目)
(50m走)
・女子は4つの学年、男子は3つの学年が県平均を下回っていた。
・運動する場の減少やマスク着用によって運動量が減少している。
・引き続き授業改善を行ったり、運動意欲が向上するように場の設定を行ったりする必要がある。

② (中学校区の課題種目)
(長座値前屈)
・女子は4つの学年、男子は4つの学年が県平均を下回っていた。
・特に、第3年の女子においては、約5cmも下回っており、大きな課題である。
・運動量の確保だけでなく、ポイントをおさえ理解しながら柔軟運動を行っていく必要があった。

③ (自校の課題種目)
(ソフトボール投げ)
・女子は2つの学年が県平均を下回っていた。
・昨年度と比較して、県平均を下回っている学年が減ってきている。平均を上回る学年も増えてきており、少しずつ伸びてきている。継続して取り組んでいる結果であると思う。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

① 呉市の課題種目 (50m走)	具体的な取組内容 ・体力を高めるためのドリル運動を行う。また、ラダーやミニハードルなどを用い、スキップやもも上げなど、リズムにのせた動きや股関節の柔軟性を高めるような運動や動きの練習を取り入れる。 ・全学年で授業改善を行い、運動量を確保する。目標の距離(50メートル)より少し長めの距離を設定して取り組み、体力向上を図る。また、授業内でダッシュするゲームなどを取り入れる。
② 中学校区の課題種目 (長座値前屈)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・体育の授業の中でストレッチングを多く取り入れ、柔軟性を高めていく。 ・各家庭でできるストレッチ運動を紹介し、柔軟性についての必要性を体育の授業の中で伝えていく。 ・目標をもたせ意欲的に取り組めるようにする。
③ 自校の課題種目 (ソフトボール投げ)	具体的な取組内容 ・投の動きに慣れるように、物を投げる動きを授業で取り上げる。また、苦手な児童対象に投の動きの練習会を行う。 ・肩関節の可動域を広げるような各学年に合った運動を行う。 ・様々な単元において、投の運動と複合させたゲームなどを継続的に行い、投の運動経験を増やす。

※具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)